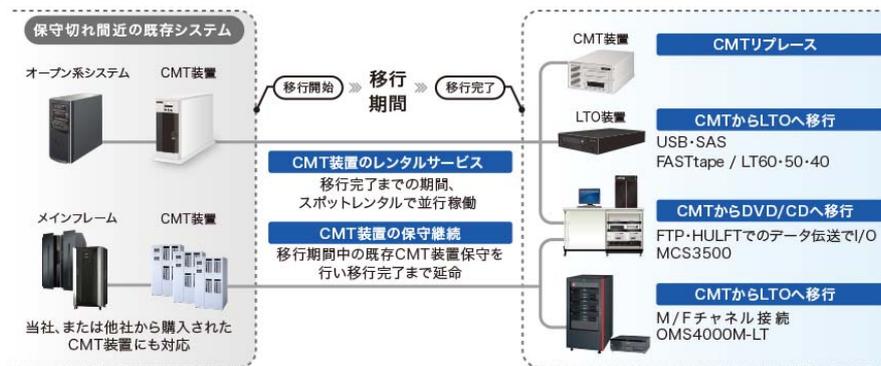


**メインフレームユーザを中心に根強く残る
1/2 インチ カートリッジ磁気テープ運用をサポートする
「CMT 運用継続/移行プログラム」を開始
- 既存 CMT 装置のリプレース、次世代記録メディアへの移行に対応 -**

株式会社ユニテックス（本社：東京都町田市、代表取締役社長：土田義徳）は、金融系企業をはじめ大手企業、システムアウトソーサで広く利用される 1/2 インチ カートリッジ磁気テープ(以下 CMT)の運用継続および次世代記録メディアへの移行を包括的にサポートする「CMT 運用継続/移行プログラム」を開始します。

ユニテックスは、創業当初より金融、官公省庁をはじめ数多くの企業に CMT ドライブを納入してきました。蓄積された CMT 運用に関わるノウハウを活かし、他の CMT 製造メーカーが製造・販売・保守の終息を発表するなか CMT 装置の安定供給およびサポートを実現しています。

CMT 運用のニーズは、各業界で今なお根強く残っています。メインフレームの世界において 1984 年の登場以来 1/2 インチ CMT はオープンリール磁気テープの後継として現在に至るまで広く利用され、データ保存用途のみならず小型で堅牢なカートリッジの可搬性の高さから金融機関を始め多くの企業でデータ交換用メディアとして採用されてきました。メインフレームでスタンダードとなった CMT 装置も各メーカーでの製造、販売が終了となり CMT 媒体に関しても 2013 年 12 月を以て製造終了となった事でメインフレームユーザは次世代媒体への移行が急務となりました。その移行過渡期の様々な問題解決手段を提供するのが、「CMT 運用継続/移行プログラム」です。



「CMT 運用継続/移行プログラム」のメニューは、大きく7つに分類され CMT ユーザの多様なニーズにマッチした提案が可能となります。

1. 短期スポットから複数年の長期に対応するレンタルサービス
現行 CMT 運用から他媒体への移行または伝送化までの移行期間、CMT レンタルサービスにより並行運用または中継ぎ運用を万全の保守体制でサポートします。
2. 現行 CMT 装置の保守継続
オープン系システム環境の SCSI 接続機を対象とした保守サポートメニュー。
自社販売装置はもとより他社から販売された CMT 装置も対象とし、他社保守終息後の保守契約継続に対応いたします。一定期間の業務継続や他媒体での運用移行までの期間、お使いの CMT 装置を延命します。

3. CMT 装置リプレース

現在お使いの保守切れまたは老朽化対策として CMT 装置リプレースをおこないます。

オープン系システム環境の SCSI 接続機リプレースにおいて、他社製品ユーザが懸念するソフトウェア特にパラメータの差異、上位 AP との連携、最新 OS への対応等、導入から運用移行までをサポートします。

また、メインフレーム チャンネルインターフェイス接続機についても ESCON または OCLINK 等のチャンネルインターフェイスを搭載した CMT 装置を継続販売。メインフレームには欠かせない CMT 運用の継続をサポートします。

4. 次世代メディア LTO(Linear Tape-Open)への移行

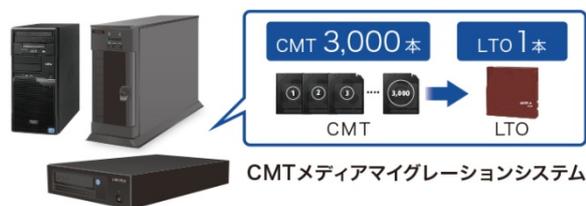
オープン系マルチプラットフォーム環境でのデータ交換を容易にする自社開発データ変換ソフトウェア

TapeTRAN5-LTO と USB3.0 または SAS 接続の LTO ドライブを組み合わせた次世代メディアによるデータ交換システムへの移行をサポート。現在 TapeTRAN による CMT 運用を行っているユーザ様は、既存のパラメータをそのまま利用できスムーズな移行が可能です。

5. CMT メディアマイグレーション

メディアマイグレーションシステム FASTMigrator シリーズを活用し、CMT を始めとする磁気テープメディアのマイグレーションをサポートします。

大量に保管される CMT メディアを用途に合わせて LTO または Blu-ray や DVD 等オプティカルメディアへのデータ集約をサポートします。



6. マルチメディアコンバータによる他メディアへの移行と CMT 運用継続

全銀協指定口振データのデータ交換業務で多種メディアの受入/返却システムとして、多くの金融系企業様に採用いただいている MCS3500 マルチメディアコンバータを活用し、次世代メディアへの移行または CMT 運用の継続を実現します。

MCS3500 シリーズは上位サーバとのデータ転送をネットワークを介し行うため、システムのプラットフォームを選ばずメインフレーム、ミッドレンジサーバ、各種オープン環境下での I/O が可能です。

次世代メディアへの移行の他、保守切れになったチャンネル接続 CMT 装置リプレースの代替案としてご提案します。

7. メインフレーム・チャンネル接続磁気テープ装置の移行

現行お使いのチャンネル(ESCON、FICON)接続の CMT 装置から、チャンネル(ESCON、FICON 等)接続 LTO へリプレース。LTO ドライブはジェネレーション 4(非圧縮 800GB)を搭載し、36トラック CMT エミュレーションにより現行の CMT ハードウェア定義および JCL 等を変更すること無く LTO4 による CMT 運用の継続を実現します。

また、チャンネル(ESCON、FICON)接続 CMT 装置の新品販売も継続。

メインフレームによる長期 CMT 運用をサポートいたします。

【本件に関するお問い合わせ】

一般	株式会社 ユニテックス 営業本部 Tel. (042) 710-4630 E-mail. sales@unitex.co.jp
報道関係	株式会社 ユニテックス プレス担当 Tel. (042) 710-4630 E-mail. news@unitex.co.jp

【当社の会社概要】

本社	東京都町田市中町 2-2-4 ユニテックスビル
代表者	代表取締役社長 土田 義徳
資本金	9,000 万円
設立	1990 年
事業内容	金融システムソリューションの開発・販売、 コンピュータ ストレージシステム、およびソフトウェアの開発、販売
URL	http://www.unitex.co.jp